JIS S3303「ウエットワイパー類の除菌性能試験方法及び除菌効果」制定のご案内

2025年5月20日に、JIS S3303「ウエットワイパー類の除菌性能試験方法及び除菌効果」が制定されました。

JIS制定については、(一社)日本衛生材料工業連合会が中心となり、行いました。

適用範囲

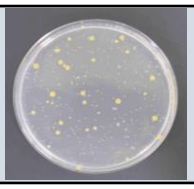
適用範囲：非多孔質製品(注1)を対象物として、除菌効果を標ぼうするｳｴｯﾄﾜｲﾊﾟｰ類を対象
※**手指などの身体部分**は対象物には含まない

ウエットワイパー類：基布に水・アルコール等から成る溶液を含浸させた製品(注2)(**ｳｴｯﾄﾃｨｯｼｭ**など)

(注1) 非多孔質製品：プラスチック製品、セラミックス製品、金属製品など
(注2) 医薬品や医薬部外品、化粧品及び医療機器(薬機法に定義されている製品)は対象外

試験方法

試験担体(ステンレス板)に**試験菌(黄色ぶどう球菌又は大腸菌)**を接種し、乾燥させた後、
拭取り装置に試料を取り付け、**試験担体表面の拭取り(120拍/分の速さで5往復**)を行います。
5分放置後、試験担体から試験菌を回収し、試験担体上の残存生菌数を測定します。

			
①試験担体(ｽﾃﾝﾚｽ板)に試験菌を接種	②拭取り装置を用いて試験担体を拭取り	③5分放置後、試験担体からの試験菌の回収	④試験担体上の残存生菌数の測定

除菌効果

この規格では、除菌とは**「対象物から生菌数を減少させること」**と定義されています。
除菌効果は、対照試料で拭取り後の残存生菌数と試験試料で拭取り後の残存生菌数で比較されます。

除菌効果
除菌活性値 $R = A - B \geqq 2.0$

A：対照試料の3検体の生菌数(Nc)の常用対数値の平均値
B：試験試料の3検体の生菌数(Nd)の常用対数値の平均値

拭取り後の残存生菌数を比較することで、対象物上の物理的な菌の減少は含まず、対象物に残存した成分による**化学的・生物学的な菌の減少**を評価しているんだね！

QTECでは、JIS S3303の規格に沿った除菌試験だけでなく、
その他製品や菌・ウイルスの種類に合わせた試験方法についても、
ご相談の上、実施させていただきますので、お気軽にお問い合わせください。

なお、JIS S3303の規格は、**対象物上の生菌数の減少度合いを測定する方法**であり、
人体に対する影響を評価する試験方法ではございません。
景表法、薬機法に関する記載等に関しては弁護士、関係省庁へお問い合わせください。

その他ご不明な点等ございましたら、お気軽にお問い合わせください。

（一財）日本繊維製品品質技術センター　神戸試験センター
TEL：078-351-1891　E-MAIL：biseibutsu@qtec.or.jp
担当：中嶋、射本